

第5次亀岡市総合計画市民会議提言書 <概要版>

※提言書の内容を要約しています

テーマ	安全・安心、健康づくり・福祉分科会（まちづくりの方策）	取組主体
健康づくり	健康づくりの機会をきっかけに、地域のつながりを構築（毎朝の公園でのラジオ体操など）	市民
	各地域で行っている健康づくり活動を市全体へ発信。公園等に誰もが身近に使える健康器具の設置、公費助成も検討	協働
	自治会よりも小さい単位で健康づくりリーダーの養成、リーダー間のネットワークづくり	行政
	事業所（企業）における健康の習慣づくり（朝のラジオ体操等）を促し、高齢期への準備期間の充実	事業者
	非常時には地域力が発揮されることになる。まずは「あいさつ」の輪を広げ、地域コミュニティの強化を図る	市民
障がい者福祉・高齢者福祉・子ども福祉	地域でのコミュニケーションを促進し、住民どうしの見守り活動の強化	市民
	福祉の総合相談窓口を創設し、コーディネーターを配置。各専門分野と連携する仕組みで、ワンストップでの支援	行政
	子どもと保護者を対象に、教育委員会と健康福祉部が連携し、総合的な子育て環境の向上や相談支援等の充実を図る	行政
	民生委員のサポート担当を1～2名つけることにより支援の充実や改選時のスムーズな候補者の確保につなげる	行政
	市の複数ある相談の協議会やネットワーク会議組織のスリム化を図り、重複委員の負担を軽減、費用弁償などの経費軽減を図る	行政
	市民の集いやすいエリアを基準として、身近な場所で健康相談ができたり、世代間交流ができる場の創出。巡回相談、地域での人材確保	行政・協働
	空き家や個人宅を利用した地域住民が集まれる地域サロンを作る	協働
保育士や介護、看護といった「ケア」に関わる人の処遇を改善することにより、福祉の充実を図る	行政・事業者	
男女共同参画	あらゆる場面での男女割合が7:3以上になるように実効性のある計画的、段階的な取組を進める	行政・協働
	あらゆる団体や組織が、女性の活躍を支援し、政策等の立案及び決定の場へ参画できるよう積極的な普及・推進	行政
	男女共同参画社会を推進するため、その要である行政の担当部署の充実を図る	行政
安全・安心・災害	緊急時に対応できるよう、地域の連絡網等を作成しておくなど、有事の際のスムーズな対応方策の充実	協働
	各地域においての避難場所や避難ルートを記したものを作成し、市民に寄り添った視点に立った行政を運営する	行政
	要支援者名簿（個人情報の問題はあるが）を活用し、災害時の要支援者の救助をルール化するなど、有事の際の現場での対応の円滑化	行政・協働
	地域の防災訓練への積極的な参加	市民
	子どもの登下校の安全・安心を確保するためのマニュアルの周知・啓発を継続的に行う	協働
	地域の拠点づくりの推進による、市民一人ひとりの居場所づくり	協働
	子どもを地域で見守る体制づくりの推進	協働
避難所等において、女性の感性・考え方が理解されるような仕組みを作り、物資面だけでなく、心理的な支援も行う。「女性相談アドバイザー」を養成・配置	行政	
人材発掘	同じ人がいくつもの団体で掛け持ちして活動しなくてもいいよう、様々な人脈を活用して人材発掘を行う	協働
	各地域における各種団体の交流を定期的に行い、様々な方面から事業の周知を行う	市民
	様々な組織で高齢化が進んでいるため、自治会、老人会等の役員任期を設け、役員への過度な負担を軽減。女性登用含む人材発掘	市民
ボランティア	幅広い年齢層がボランティア活動に携われるよう、機運を醸成するため、活動に工夫を凝らす	協働
	無償ボランティアだけでなく、有償ボランティアの拡充のしくみを確立し、また、女性や高齢者が多い状況を改善するよう工夫する	協働
	行政による財政支援を行い、ボランティア活動を活性化	行政
	ボランティアに関する相談窓口を設置するとともに、一般市民が円滑にボランティアに取り組めるよう支援・推進	行政
	病院、市役所や買い物等に向かう際に、自身では移動できない方への送迎車の運用	協働
情報	広報紙の文字サイズを大きくするなど、受け手側の視点に立ったわかりやすい広報活動の推進	行政

第5次亀岡市総合計画市民会議提言書 <概要版>

※提言書の内容を要約しています。

テーマ	生涯学習・教育分科会（まちづくりの方策）	取組主体
生涯学習、芸術	自然、歴史、文化、風俗、音楽、絵画を楽しみ、学べるような施設の整備	協働
	芸術家と市民の交流の場を創出するなど生涯学習都市であることを前面に打ち出すことによるシビックプライドの醸成	協働
	学術研究都市や首都圏など、他市町村との連携を図るとともに、サテライトオフィスの設置の検討	行政
	乳児から高齢者のそれぞれのライフステージに応じて、生涯学習を再定義し、ライフステージごとの取組の推進	協働
	生涯学習の学びの好循環(学びをつなげていく)の視点で、事業を実施していく	協働
	新資料館(博物館)建設の早期実現	協働
	総合型地域スポーツクラブの推進などスポーツを楽しむことができる仕組みの推進	協働
	趣味のサークルが組織しやすくなる仕組みづくりと、その受け皿となる公民館・自治会館の利用対象を広げ、利用者同士の交流活性化	協働
	文化資料館独自のホームページを開設し、持続可能な情報発信の推進	行政
地域・家庭	就学前の子供を持つ親を対象とした交流できる地域のコミュニティづくり	協働
	就学前の学習意欲の格差をつくらぬよう、親に対し就学前教育の大切さの周知	行政
	各地域における児童館の充実	行政
	放課後における子どもの居場所の確保	協働
	自然を活かした公園などをつくったり、今ある公園を充実させるなど、人が集える場所の創出	協働
	市内各所にスポットを整備し、歩いて学べるような仕組みの構築	協働
	子どもが亀岡への愛着を育むことができるよう地域教育の充実を図り、市を支える市民の育成	協働
	図書館の利用ルールを変更し、学習・勉強の場として利用できるよう利便性の向上	行政
	食育の推進・普及	協働
学校教育	障がいのある児童生徒や外国人児童生徒のために、支援の充実を図る	協働
	それぞれの子どもにあったカリキュラムを市民の手で構築するなど、子どもたち一人一人を大切にする教育の充実	協働
	学校におけるノーマライゼーションの推進	行政
	ふるさと教育に留まらず、実践学習として外での体験活動の活発化	行政
	学校の空き教室を有効利用すべく地域に開放し、地域における生涯学習の拠点や自習スペースとしての整備の推進	協働
	校外授業を増やし、住んでいる地域の外の亀岡にふれる学習の推進	行政
	施設面の整備と教育内容面の充実を意識した各学校における適切な均衡が図られた教育行政の推進	行政
	小学校のみではなく、中学、高校でも亀岡について学ぶ機会の創出。そのひとつとして新資料館(博物館)の早期実現	行政
	学校内への図書館の分館設置による学習機会の充実	行政
	フリースクールなど、子どもの多様な学びを支援するシステムの充実	協働
	多様な性的指向や性自認の子どもたちに対する適切な支援の充実	協働
社会教育	在住外国人に対して、日本語習得支援を行う	行政
	情報発信を地域のケーブルテレビで行う	行政
	情報センターや学習センターとして図書館を位置付け、学習スペースの拡充や新刊の増加、開館時間の延長	行政
	図書館やギャラリーの既存の施設について、発信力強化のための整備、若者のニーズに沿った活用方策の推進	行政
	地球環境子ども村活動の充実・推進	行政
	亀岡市の歴史遺産の活用方策の検討、情報発信の推進	協働
	ギャラリーの改装・増築を行うとともに、立体駐車場等の設置に向けた用地所得の検討	行政

第5次亀岡市総合計画市民会議提言書 <概要版>

※提言書の内容を要約しています。

テーマ	生活環境、産業分科会（まちづくりの方策）	取組主体
移動手段・共有	高齢者の免許の返納した後の移動手段のイメージの明確化。移動の充実に伴い交流機会も増え、生活の質の向上につながる情報発信	行政
	観光に訪れる人が市内の移動をも楽しめるような環境の充実	協働
	店舗や空き家、自動車といった資源の共有化を図り、レンタルなどシェアの視点に寛容になるような意識の醸成	協働
	高齢者のためにふるさとバスの目的の明確化とともに、コミュニティバスとの棲み分け、充実。NPOや民間事業者による移送システムの充実	協働
	農業従事者が出荷の際、他の従事者と相乗りし、出荷ができるような仕組みづくり	事業者
ゴミ・空き家問題	問題化する空き家やごみ屋敷の解決に向けた取組の推進	協働
	空き家について、市民からの情報提供がしやすくなる仕組みづくり	協働
	ゴミ捨ての際のモラル低下が伺えることから、意識啓発を行う	協働
	有料ゴミ袋の値上げにより、ごみ意識の向上を図る	行政
	マイボトル、プラスチックゼロへ向け、市民だけでなく、企業に支援を行う	行政
	農村に点在する空き家を交流の場所として利活用する	協働
	空き家とアート空間として利活用する	協働
環境先進都市推進を構築する中で、市民の一齐清掃を実施するなど、循環型社会に資する社会にする	協働	
テコイン・パクト化シ	各駅前に店舗の集約化や自治機能の向上を図るなど、コンパクトシティ化に向けた取り組み推進	協働
	生活に必要なすべての施設がまかなえるよう、駅を中心としたまちづくりの推進	協働
	駅周辺に病院やレジャー施設・憩いの場を設置し、利便性の向上を図る	協働
	マイナンバーサービスの推進を背景としながら、キャッシュレス決済サービスの活用に対して、行政職員の理解促進と共にMaasへの活用を検討	行政
先端産業	排水やにおいに対する対策を講じる一方、においの活用に向けた技術開発を京都先端科学大学との協働で推進	協働
	排水や汚物の無臭化と共に、農業への利活用の推進	協働
	亀岡の豊かな水とそれを支える土壌（堆積層）の利活用方策の研究・検討	協働
	京都先端科学大学との連携を図り、亀岡独自の産業の開発・推進	協働
	医、工、産、農、森などあらゆる分野における、ビッグデータの活用方策の検討	協働
企業・個人事業	産業活性化のために企業誘致を推進	協働
	大企業にこだわらずに本社機能の誘致を図り、活性化を推進	行政
	産業間の交流・集積を図る	協働
	企業による講座を開催し、専門知識の付与を図る	協働
	ターゲットを絞った集客を図るために、昭和を感じる店づくりの推進	事業者
	空家の店舗家賃を抑えながらチャレンジショップとして活用を図り、商業活動の活性化を推進	協働
	情報発信を充実させ、事業挑戦者がチャレンジしやすく、成功・失敗事例が共有できる環境づくり	市民
農林業・商工業	世界展開を視野に入れた農産物を生産する	事業者
	農家が安定した収入が得られる職業になるよう取組を推進	事業者
	スタジアム横の農地を活用し、休日農園、チャレンジ農園の整備	事業者
	亀岡産木材を活用し、木に触れ合うことができるウッドスタート事業の実施、及び一定の年齢に置ける記念品の配布	行政
	亀岡牛を技術革新と掛け合わせるにより、研究開発を行う	事業者
	亀岡牛の世界的展開を見据え、牛小屋の最適な環境構築、その技術の販売	事業者
	亀岡の生産物をアピールするなど、農業・畜産分野の更なるブランド化の推進	協働
	空き家等の有効活用として生活用品ポストの集約化・設置を推進し、再配達などのロスを防ぐ	事業者

観光	都会から亀岡に来てもらえるよう、情報発信の充実と共に、回遊の仕組みづくりを行う	協働
	京都との相対化により亀岡観光の印象付けを行い「走る」「歩く」の視点から展開する	協働
	亀岡の自然景観の見どころをつないだ市民参加のプロモーションビデオ制作し、情報発信を行う	協働
	亀岡の農業や工業を体験できるような仕組みの構築	協働
	宿泊施設の創意工夫を図り、滞在客の増加を図る	事業者
	亀岡ならではの自然が満喫できるようなレジャー・文化施設の充実	事業者
	オール亀岡花火大会観覧スポットの整備をするとともに、スタジアムや市内観光レジャーを位置づける	協働